

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 29 年 6 月 16 日現在

機関番号：12603

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25380281

研究課題名(和文) 豪州の国際協力と東南アジア：豪州の乾燥地域開発の経験とタイ東北部農村開発

研究課題名(英文) Australian International Cooperation and Southeast Asia: Australian Experience for Development of Dry Zone and the Rural Development in Northeast Thailand

研究代表者

宮田 敏之 (MIYATA, TOSHIYUKI)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：70309516

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、オーストラリアのタイに対する国際協力、特に、タイ東北部の農村開発や土壌改良に関わる国際協力について研究した。特に、乾季の干ばつと雨季の洪水に悩まされてきたタイ東北部、中でも世界的に有名な香り米「ジャスミン・ライス」の名産地である「トゥン・グラ・ローンハイ」地域の農村開発や土壌改良に焦点を当てた。1970年代から1980年代にかけて同地域において実施されたオーストラリアの国際協力の内容を検証した。

研究成果の概要(英文)：This research examines the Australian international cooperation for Thailand, especially for the rural development and soil improvement in the Northeast Thailand. In particular, this research focuses on the Australian international project and the agricultural development of "Tung Kula Ronghai" zone of Northeast Thailand from the 1970s to the 1980s, which has been plagued by the drought of the dry season and the flood of the rainy season, but is the most famous planting area of "Jasmine Rice" with an established reputation in the world rice market.

研究分野：経済政策

キーワード：オーストラリアの国際協力 東北タイ農業開発 タイ経済発展

## 1. 研究開始当初の背景

オーストラリア政府は、オーストラリア開発援助庁 (The Australian Development Assistance Bureau : ADAB : 1976年 - 1987年 : 2017年現在、Australian Agency for International Development : AusAID) を通じて、アジア太平洋地域に重点を置きつつ、アフリカや中東に対しても国際協力援助をおこなっており、その対象国は世界 75 カ国に上る。特に、地理的に近接する、インドネシアやパプアニューギニアに対して、貧困解消、教育の普及、男女格差の解消、乳幼児死亡率の削減、エイズ、マラリアなど伝染病の防止をはじめ、多岐にわたる開発協力プロジェクトを、継続的かつ大規模におこなってきた。特に、2004年のインド洋大津波で甚大な被害にあったインドネシアに対して、国土の再建と開発計画に 10 億ドルの資金を提供するなどしている。また、オーストラリアの国際協力はインドネシアやパプアニューギニアのみならず、東南アジア地域にもおこなわれており、2012年に出版された最新のオーストラリア国際開発庁の年次報告によれば、ベトナム、フィリピン、カンボジア、ラオス、ミャンマーにも重点的に開発援助が実施されている。

しかしながら、本研究では、一定の経済発展を実現し、オーストラリアの主たる援助対象国とはなっていないタイに対するオーストラリアの国際協力、特に、1970年代から1980年代に、オーストラリアの乾燥地域開発の経験を活かして進められた、タイ東北部の乾燥地域、いわゆる「トゥン・グラール・ローンハイ」地域 (宮田訳・グラール族も涙する乾燥地域) に対する、農村開発プロジェクト (土壌改良と作物栽培指導等) を取り上げ、オーストラリア側とタイ側双方の資料調査をおこない、総合的に検証を試みる。あわせて、タイ東北部で、農村開発プロジェクトが重点的に実施された「トゥン・グラール・ローンハイ」地域では、1980年代以降、実は、タイ産高級香り米「ジャスミン・ライス」の栽培が拡大し、タイを代表する産地となった。そこで、このプロジェクトが、なぜ、この地域を選択し、どのようなプロジェクトを具体的にを行い、その後の農業開発に、どのようなインパクトをもたらしたかについて、その成果と課題についても検討を加える。

## 2. 研究の目的

オーストラリアは、地理的に近接するインドネシアを中心に、東南アジア各国に対して様々な国際協力をおこなってきた。しかしながら、広大な乾燥地域を抱えるオーストラリアが、同国の乾燥地域開発の経験を、東南アジアの農村開発に活かす形でおこなってきた国際協力については、これまでほとんど注目されていない。そこで、本研究は、オース

トラリアの乾燥地域開発の経験が、1970年代から1980年代にかけて、乾季の乾燥と雨季の洪水に悩まされてきたタイ東北部の農村開発にどのように活かされたか? を検証する。

## 3. 研究の方法

オーストラリアにおける資料調査  
オーストラリアの東南アジア、なかんずく、タイに対する国際協力の歴史的経緯を整理しつつ、オーストラリア国際開発援助庁 (Australian International Development Assistance Bureau : 1970年代から1980年代当時) が中心となって、タイ東北部、特に、開発の遅れていた乾燥地域「トゥン・グラール・ローンハイ」地域で実施した農村開発 (土壌改良・農業開発) プロジェクトの構想・経緯・成果を分析し、オーストラリアのタイに対する政府開発援助の特徴を明らかにする。そのために、オーストラリアのキャンベラ市内のオーストラリア国立公文書館 (The National Archives of Australia : Canberra) 等で資料の調査収集をおこなう。

タイにおける資料調査  
タイのバンコクにあるタイ国立公文書館、農業・協同組合省土地開発局、タイ東北部ローイエット県のタイ農業・協同組合省土地開発局「トゥン・グラール・ローンハイ」土地開発センターにおける資料調査をおこなう。また、チュラーロンコーン大学図書館等大学図書館において、オーストラリアのタイ東北部の農村開発プロジェクトに関する資料調査をおこなう。

日本国内における資料調査  
自然資源管理および農業関係の資料が多数所蔵されている、京都大学東南アジア研究所図書館において、必要に応じてオーストラリアのタイに対する東北タイの農業開発協力に関する文献資料を調査・収集する。

## 4. 研究成果

本研究は、オーストラリアの乾燥地域開発の経験が、1970年代から1980年代にかけて、乾季の乾燥と雨季の洪水に悩まされてきたタイ東北部、特に「トゥン・グラール・ローンハイ」地域 (ローイエット県、マハーサラカム県、スリン県、シーサケート県、ヤソートン県に跨るムーン河地域) の農村開発に与えた影響を検証する。

タイ国内における調査、特に、タイ国立チュラーロンコーン大学図書館等における資料の調査と収集、および東北タイ「トゥン・グラール・ローンハイ」地域に位置するローイエット県における農業開発及び香り米ジャスミン・ライスの栽培拡大について調査をおこなった。その主な内容は、チュラーロンコーン大学での資料調査によって、オーストラリアのタイに対する国際開発援助に関す

る博士論文 (Juliet Hunt, "A Critical Assessment of Australian Official Development Assistance Policy and Practice," Ph.D Thesis, the University of New South Wales, 1986.) を入手した。この論文の分析を通じて、オーストラリアのタイに対する国際開発援助の特徴と経緯を再整理することが可能となった。オーストラリアにおける資料調査を行う上で、極めて重要な文献であった。

タイ政府が 1980 年代に実施した東北タイ「トゥングラーハイ」地域の開発に関する、1980 年代末時点でのプロジェクト評価書を、バンコクのタイ農業・協同組合省土地開発局資料室において入手し、その分析を行い、タイ政府が農業・協同省土地開発局のみならず、灌漑局、あるいは内務省等の多くの部局を動員して、トゥン・グラール・ローンハイ地域の農業開発、道路整備、灌漑整備等をおこなったことが明らかになった。1970 年代末に実施されたオーストラリアの国際開発援助による農業開発と土壌改良プロジェクトとの関連が次の課題となることが明らかになった。また、タイ東北部ローイエット県農業・協同組合省土地開発局ローイエット土地開発事務所での資料・ヒアリング調査をおこなった

オーストラリア国立公文書館 (The National Archives of Australia :Canberra) での資料調査。特に、キャンベラのオーストラリア国立公文書館では、オーストラリア開発援助庁 (Australian Development Assistance Bureau) の 1970 年代から 1980 年代の文書を集中的に調査した。この調査に基づき、1976 年以降、オーストラリア開発援助庁が、本研究の対象とするタイ東北部「トゥングラーハイ」地域を対象とし、土地開発プロジェクトを行い、そのプロジェクトに関わる膨大な報告・資料類を作成したことが判明した。1976 年から 1989 年までに少なくとも 75 の報告・資料類が所蔵されており、その目録を作成した。しかしながら、残念なことに、これらの資料のほぼ全てが公開されておらず、数か月以上のオーストラリア国立公文書館での査定手続きが必要であり、その後、公開されるといふ種類の公開制限が定められた文書であった。そのため、これらの貴重な報告書・資料の存在とその概要のみを確認するにとどまらざるを得なかった。しかし、これまで、日本国内の研究者はもとより、タイおよびオーストラリアの研究者によっても、全く利用されていないこれら報告・資料類の存在と概要を確認し、資料目録を作成することができた。なお、キャンベラのオーストラリア国立公文書館は、平成 28 年 (2016 年) 7 月から、資料所蔵・保管システムの変更のため、長期の閉鎖状態となった。同公文書館の再開は平成 29 年 (2017 年) 7 月以降とされている。平成 28 年度における同公文書館における資料調査は、事実上困難となった。今後、同公文書館における、より本格的

な資料調査と収集が必要とされる。

タイ国内研究機関において、オーストラリアのタイ農業援助、特に、本研究の主たる対象とするタイ東北部「トゥングラーハイ」地域におけるオーストラリアの農業援助に関する資料調査と分析に集中することになった。中でも、これまで本格的に資料調査が行われていなかったタイ国立チュラーロンコーン大学本部図書館の貴重文献 (Rare Books) セクションおよびタイ情報センター (Thailand Information Center) に所蔵されている、オーストラリアのタイ農業に関わる援助関係資料について集中的に資料調査し、その収集と分析を試みた。特に、1970 年代後半から 1980 年代初頭のタイ東北部「トゥングラーハイ」地域におけるオーストラリアの農業援助プロジェクトに関する貴重な報告書を複数入手することができた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 5 件)

○宮田敏之「アングマン海域ネットワーク形成と展開：錫・ゴム・アブラヤシの社会経済史」『公益財団法人 JFE21 世紀財団 2015 年度アジア歴史研究報告書』、2016 年、1 - 17 頁。

宮田敏之「東南アジア経済史 近現代 I：19 世紀半ば～1930 年代」水島司、加藤博、久保亨、島田竜登編『アジア経済史研究入門』名古屋大学出版会、2015 年、163 - 177 頁、319 - 324 頁。

宮田敏之「屋台骨としての農業：しびとく発展し続けるタイ農業」綾部真雄編著『タイを知るための 72 章』明石書店、2014 年、98 - 105 頁。

宮田敏之「東南アジアの主食コメは今？：食糧自給と不安定化する世界食糧貿易」東京外国語大学東南アジア課程編『東南アジアを知るための 50 章』明石書店、2014 年、137 - 143 頁。

宮田敏之「「香り米」をめぐるインドシナ稲作の新展開」『明日の東洋学』(東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター) 第 30 号、2013 年、2 - 4 頁。

[学会発表](計 6 件)

MIYATA, Toshiyuki, "Delta Development and Rice Export in Thailand in the Late 19th and the Early 20th Century: The Case of Chaophraya River," the 8th Indo-Japanese Workshop, Reconsideration of the 19th century from Asian Perspectives, Centre for Historical Studies and Jawaharlal Nehru Institute of Advanced Study, (JNIAS), Jawaharlal Nehru

University, India7-8 January 2016.

MIYATA, Toshiyuki, "Land Use in Chaophraya Delta and Siamese Rice Export Development: The Case of Siamese Garden Rice," The Third Congress of the Asian Association of World Historians (AAWH), Nanyang Technological University, Singapore May 30, 2015.

宮田敏之「アメリカ経済援助とタイ農業経済の変容：「稲品種改良プログラム」を中心に」パネルディスカッション「欧米諸国の開発援助戦略の多極化とアジア国際秩序の変容」社会経済史学会・第83回全国大会、会場・同志社大学、2014年5月25日。

MIYATA, Toshiyuki, "Rice and Middle Income Country's Challenges: A Case of Rice Pledging Scheme in Thailand," International Seminar "Thai Studies Through East Wind" August 24-25, 2013, Furama Hotel, Chiang Mai, Thailand.

宮田敏之「インラック政権下の米担保政策とタイ社会経済の行方」企画パネル1：「タイ経済：脱「中所得国」の新局面と直面する課題」日本タイ学会・第15回研究大会、会場・横浜市立大学、2013年7月6日。

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

宮田 敏之 (MIYATA, Toshiyuki)  
東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授  
研究者番号：70309516